

# きずな

2008年11月 6日

NO 719

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

日本共産党井原市委員会（森本ふみお委員長）の7人が10月23日井原市役所で瀧本豊文井原市長に「平成21年度予算編成にあたっての要望書」を手渡し、内容の説明をするなど約90分にわたって懇談しました。紙面の都合で先週に続いて今週も要望の項目をお知らせいたします。

## 【建設経済部関係】

- 雇用及び中小企業の実態調査を行い、雇用と産業の活性化策をすすめること。
- 大経営だけを対象とした品目横断的経営安定対策をやめ、家族経営を守り、全ての農産物の価格保障をするよう国に申し入れること。
- 地産地消を推進し、食育に積極的に取り組むこと。
- 都市部(井原地域)と農村部(芳井、美星地域)の交流をより一層推進すること。
- 空き店舗対策、駐車場対策など商店街の活性化をはかるための支援を行うこと。
- 井原、芳井、美星の特産品を個別一体的に捉え、井原の特産品として全国に発信すること。
- 公園管理委託料を増額すること。
- 市が主催するイベント時には十分な仮設トイレを設置すること。
- 美星町から井原町への直通バス路線を増便すること。
- 米輸入を削減・廃止し、農作物の価格・所得保障を行うよう政府に要求すること。
- イノシシ・サル及びヌートリアの被害対策を改善・強化すること。
- 井原線高架下の側道を整備・改修すること。
- 市内の道路工事箇所の通行の安全確保のため、業者を強力に指導すること。また、通行止めにする場合は、関係者の意見をよく聞き実施させること。
- 定期的に、市内の公園や通行上の危険箇所を総点検し、早急に適切な手立てを講ずること。
- Uターン、Iターン者の支援制度を実施すること。
- 定期的に市道の外側線を総点検し、不備な箇所は線を引き直すなどの整備をすること。
- 井原駅から田中美術館までの間に、物産・土産店と案内所を兼ねた休憩場所を設置すること。
- 生活道路や水路改修など生活に密着した公共工事を増やし、地元業者への優先発注をおこなうこと。
- 明るいまちづくりと市民の安全を守るため、都市照明(防犯灯など)の早期全面点検と整備をおこなうこと。
- 新農政、新農業基本法実施に伴い、



》》》

》》》 より一層深刻になった農業(農家)を守っていくため、自治体として、独自の農政を進めること。



## 【水道部関係】 (3項目)

- 独身者や高齢者の二人暮らし世帯に対し、上水道及び簡易水道の基本料金の使用量を細分化すること。
- 湯水などで水の供給が十分できない時のために、市内で新たな水源を確保し、安定的な水の確保をおこなうこと。
- 高齢者の一人暮らし世帯や高齢者夫婦のみ世帯に対し、公共下水道の工事費や負担金等の補助をおこなうこと。

## 【市民病院関係】 (11項目)

- 井原市民病院内に職員で構成する医師、看護師等対策委員会というような組織を立ち上げ、専ら医師、看護師等の確保のための情報収集を行い、情報に対する対応も、対策委員会のメンバーが中心になって行えるくらいの組織にすること。
- 上記の組織ができるできないに関係なく、常時様ざまな媒体を利用して、医師、看護師等を募集していることを広報すること。  
そして市内はもとより、県内外からの紹介もお願いする。特に医師については、市内の開業医の先生方をお願いして、医師を紹介してもらうよう最大限の努力をすること。
- 他の医療機関でやっているところがあるが、医師、看護師等の紹介をしていただいた方に報奨(お礼)金を支給するという制度を作ること。  
その際、井原市民病院に勤めている期間を定め、定めている期間以上勤めているという実績に基づいて、その時点で、紹介者に報奨(お礼)金を支給する。報奨(お礼)金は、医師、看護師、その他の人の金額が同一でなく、具体的にそれぞれいくらと決めること。
- 公的病院としての理念・位置づけを明確にし、地域の中核病院としての **2面左上へつづく**

**ゆいゆい総選挙!!。日本共産党が伸びれば政治は必ず変わります。「国民が主人公」の新しい日本へ。**

## 1面右下からつづく

使命を果たすこと。

- 看護師の増員などスタッフの増員をはかり、患者サービスの向上をはかること。
- 医療体制に対し、依然として市民から多くの苦情が寄せられている。医師を早急に確保し、患者さんたちが安心して医療が受けられるような体制にすること。また、医師不足解消のために長期展望に立って、市独自で医師養成をするシステムの構築に最大限努力すること。
- 新薬より購入価格の安い後発薬に切り替える努力を一層強めること。
- 脳卒中に対する医療体制を充実すること。
- 治療内容がよく分かるように、領収書の改善をすること。患者への付き添いを家族に安易に依頼しないこと。
- 「ご意見箱」の設置箇所を増やし、患者や家族をはじめ住民の声を吸い上げる条件整備をすること。
- 骨塩量測定装置を有効利用するため保健センターと連携し、市が検診料助成をおこない40歳以上のすべての女性に骨粗鬆症検診を実施すること。

## 【教育委員会関係】(28項目)

- 発達障害児の支援を、ゼロ歳から就労まで行うこと。
- 幼稚園、小学校、中学校、市立高等学校の敷地内を禁煙にすること。
- 全国一斉学力テストを中止するよう国に意見をあげること。
- 幼稚園・小学校・中学校・市立高等学校の全教室に扇風機の設置と増設をすること。
- 地区公民館に常勤者を配置すること。
- 憲法に基づく教育行政をすすめること。
- 市内で不審者の出没があとを絶たない。児童生徒の見守り隊を全体的に充実・強化すること。
- 井原市を他市に宣伝する目玉が少ない。旧山陽道に面した井原、芳井、美星の興譲館高校との関わりを調査・研究し、改めて歴史を掘り起こし、井原市ここにありと全国発信すること。
- 文化予算を増やし文化団体の育成に努め、市民の文化活動を盛んにすること。
- 早期に、すべての公立幼稚園で3歳児の受け入れを行うこと。



- 新たに文部科学省が示している予算の増額に応じて学校図書館の図書購入費を増額すること。
- 全国的には、学校でのいじめや、いじめによる自殺が増えています。本市でも学校、地域、教育委員会が連携を密にし、いじめなどが起きないように万全の策を講じること。不幸にしていじめがあった場合は、担任の教師一人に任すのではなく、学校全体の問題としてこれらの根絶にあたること。
- 給食センターでの地産地消の拡大を。また、将来にわたって民間委託をしないこと。
- アクティブライフ井原は、生涯学習の場であり、市民のよく集る場所でもあります。また、さまざまな障害のある人たちも会場を利用しています。各部屋に行くため、廊下の壁などに「てすり」を取り付けること。
- 小・中学校の学級生徒数を30人以下学級にすると同時に少人数指導のために教職員を加配すること。
- 市内全幼稚園に給食を導入すること。
- 市や教育委員会などが主催する演劇、音楽会などのとき、託児所を開設し、子育て世代の方が安心して参加できる条件をつくること。
- 学校教職員専用の男女別トイレや女性教員の更衣室を設置すること。
- 市内全校に、掛け持ちでない学校図書館事務職員(一般的には司書)を配置すること。また、身分の確立のため、正規職員化をはかること。
- 各校の各階に男女別洋式水洗トイレを設置すると同時に、トイレを改善すること。
- 校舎の大規模改修を計画通り実現すること。また、各校の危険箇所を総点検し、危険箇所や整備不良箇所については、早急に対応すること。
- 井原市史編纂室の多くの古文書を収蔵する場所を確保すること。また、これらの資料を誰でも自由に閲覧できるようにするため「古文書センター」(仮称)を設置すること。
- 全幼稚園に、小学校長の兼務園長でない専任園長を配置すること。
- 教員が教員本来の任務が遂行できる条件づくりのため、小・中学校に校務員を配置すること。
- 教職員が、必要な消耗品が買えるだけの予算づけをおこなうこと。
- 学校プールの総点検を行い、改善箇所は事故等が起きる前に早めに改善すること。また、職員用のプール更衣室を作ること。
- 全校に子ども用の更衣室を設置すること。
- 日の丸・君が代の強制を行わず、憲法・現行教育基本法を尊重し「こどもの権利条約」の精神に基づく教育をすすめること。



》》》

**いよいよ総選挙！！。日本共産党の勝利で、後期高齢者医療制度は、きれいなさっぱり撤廃させまじょう。**